



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社 な と り
コード番号 2922

上場取引所 東

URL <http://www.natori.co.jp/>

代表 表 者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 名 取 三 郎

問合せ先責任者（役職名） 経理部長兼経営企画部長（氏名） 安 宅 茂 TEL (03)5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,235	5.7	883	13.2	870	8.7	534	11.4
26年3月期第2四半期	17,259	5.6	780	22.0	800	23.8	479	27.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 570百万円 (△1.3%) 26年3月期第2四半期 577百万円 (62.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第2四半期	41	65	—	—
26年3月期第2四半期	35	24	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	27,985	—	16,050	—	57.4	—
26年3月期	27,684	—	15,689	—	56.7	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 16,050百万円 26年3月期 15,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	—	7.50	—	8.00	15.50	—
27年3月期	—	8.00	—	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	37,500	3.1	1,565	△9.8	1,500	△11.7	910	△7.7	70	90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
新規 ー社 （ ー） 除外 ー社 （ ー）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有・無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期2Q	15,032,209株	26年3月期	15,032,209株
27年3月期2Q	2,197,606株	26年3月期	2,197,586株
27年3月期2Q	12,834,620株	26年3月期2Q	13,612,439株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
【四半期連結損益計算書】	8
【四半期連結包括利益計算書】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
5. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間においては、消費税増税の反動が多く業界で長引いていることや、一部の地域では夏場の天候不順・ガソリン価格高騰等の影響もあり、消費の回復ペースは鈍化しております。他方、雇用確保が困難になっており、賃金の上昇とともに人件費の管理が企業の一層の課題となっております。

この様な状況の中、当社グループは春夏新製品と秋冬新製品の導入及び市場定着を積極的に進めました。また、各エリアの嗜好に合った製品の重点投入や販売促進に取り組ましました。消費税増税の影響も軽微であり、順調に売上を伸ばすことができました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高 182 億 35 百万円（前年同四半期比 5.7%増）、営業利益 8 億 83 百万円（同 13.2%増）、経常利益 8 億 70 百万円（同 8.7%増）、四半期純利益 5 億 34 百万円（同 11.4%増）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

区 分		前第 2 四半期 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日		当第 2 四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
食 品 製 造 販 売 事 業	水産加工製品	8,016	46.4	8,170	44.8	153	1.9
	畜肉加工製品	2,747	15.9	3,048	16.7	300	11.0
	酪農加工製品	3,136	18.2	3,118	17.1	△18	△0.6
	農産加工製品	452	2.6	536	3.0	83	18.4
	素材菓子製品	1,013	5.9	997	5.5	△16	△1.6
	チルド製品	248	1.4	406	2.2	157	63.5
	その他製品	1,495	8.7	1,808	9.9	313	20.9
	計	17,111	99.1	18,085	99.2	974	5.7
不動産賃貸事業計		148	0.9	150	0.8	1	1.0
売上高合計		17,259	100.0	18,235	100.0	975	5.7

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、平成 27 年 3 月期より、食品製造販売事業の製品群を変更致しました。これに伴い、以前の「おつまみスナック製品」と「小物菓子製品」の売上金額は、他の製品群へ振り分けております。

(食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、コクと旨みにこだわった新製品「贅沢なチーズかまぼこ」や巾着タイプのチーズかまぼこが好調に推移し、はごろもフーズ株式会社とコラボレーションした新製品「シーチキンいかフライ ツナマヨネーズ味」や、素材の旨味を存分に引き出した新製品「一夜干し風 しっとりあたりめ」なども売上を伸ばし、増収となりました。畜肉加工製品は、「THE おつまみ BEEF」などのジャーキー製品や、「一度は食べていただきたい 粗挽きサラミ」などのドライソーセージ製品が貢献し増収となりました。酪農加工製品は、「一度は食べていただきたい 熟成チーズ鱈」や「一度は食べていただきたい 燻製チーズ」の売上が引続き好調に推移したものの、全体としては微減収となりました。農産加工製品は、「くるみ」が健康に良い食べ物としてテレビ番組で放映されたこともあり、「JUSTPACK くるみミックス」などのナッツ製品や、「野菜おつまみ 茎レタス梅しそ味」などが貢献し増収となりました。素材菓子製品は「ねりうめ はちみつ味」などの飴製品や新製品「黒まめおやつ」などが好調に推移しましたが、わずかに減収となりました。チルド製品は、「つば焼き風貝の醤油焼」「おつまみ磯貝」などのフードパック製品や、「くちどけチーズたら 熟成チェダーチーズ」などが売上を伸ばし増収となりました。その他製品は、新製品「燻製薫るおつまみセレクション」などのアソート製品が貢献し増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は 180 億 85 百万円（同 5.7%増）となりました。

利益面では、売上増加や生産性の向上による原価低減等の諸施策により、原材料価格の上昇を吸収し、売上総利益は 57 億 56 百万円 (同 2.7%増) となりました。

販売費及び一般管理費は、業務の無駄取りなどあるべきコスト構成を追求するコストコントロールに継続的に努めたことにより、49 億 59 百万円 (同 1.1%増) に留めることが出来ました。

この結果、営業利益は 7 億 97 百万円 (同 13.8%増) となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は 1 億 50 百万円 (同 1.0%増)、営業利益は 86 百万円 (同 8.6%増) となりました。

		前第 2 四半期 〔自平成25年4月1日 至平成25年9月30日〕		当第 2 四半期 〔自平成26年4月1日 至平成26年9月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	17,259	100.0	18,235	100.0	975	5.7
	売上総利益	5,684	32.9	5,842	32.0	158	2.8
	販管費	4,904	28.4	4,959	27.2	55	1.1
	営業利益	780	4.5	883	4.8	103	13.2
	経常利益	800	4.6	870	4.8	69	8.7
	第 2 四半期純利益	479	2.8	534	2.9	54	11.4

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は 279 億 85 百万円 (前連結会計年度末比 3 億 1 百万円増) となりました。

資産の部では、受取手形及び売掛金、商品及び製品、建物及び構築物などが減少しておりますが、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、仕掛品などの増加により総資産が増加いたしました。

負債の部では、賞与引当金、退職給付に係る負債などが増加しておりますが、未払法人税等、未払金などの減少により負債合計は 119 億 35 百万円 (同 59 百万円減)、純資産の部では利益剰余金の増加等により純資産合計は 160 億 50 百万円 (同 3 億 61 百万円増) となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比 0.7 ポイント増の 57.4%となっております。

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、24 億 72 百万円 (前連結会計年度末比 3 億 54 百万円増) となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、8 億 19 百万円の収入 (前年同四半期は 8 億 59 百万円の収入) となりました。主に、たな卸資産が 4 億 60 百万円増加しておりますが、税金等調整前四半期純利益が 8 億 70 百万円と前年同四半期比増益となり、また売上債権が 2 億 73 百万円減少となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1 億 53 百万円の支出 (前年同四半期は 3 億 94 百万円の支出) となりました。主に、工場における生産設備の導入等、有形固定資産の取得による支出が 1 億 34 百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3 億 12 百万円の支出 (前年同四半期は 3 億 32 百万円の支出) となりました。主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出が 1 億 65 百万円、配当金の支払額が 1 億 2 百万円、長期借入金の返済が 43 百万円となったこと等によるものです。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期	平成 27 年 3 月期 第 2 四半期
自己資本比率 (%)	56.5	59.0	57.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	44.0	47.0	52.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	436.7	514.1	559.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	70.4	87.9	91.4

(注)自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。

※「－」表示は、値がマイナスであることを表しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、市況の見通しをはじめ原材料価格及び為替動向など不透明な要因も多く、予断を許さない状況が続くものと予想しており、平成 26 年 5 月 9 日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が165,371千円増加し、利益剰余金が106,498千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成 26 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 26 年 9 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,431,429	2,785,763
受取手形及び売掛金	5,710,231	5,436,431
商品及び製品	854,769	668,106
仕掛品	497,866	624,090
原材料及び貯蔵品	2,302,524	2,823,907
その他	329,742	303,092
貸倒引当金	△312	△311
流動資産合計	12,126,249	12,641,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,890,942	6,730,343
土地	5,255,305	5,255,305
その他 (純額)	1,811,242	1,745,181
有形固定資産合計	13,957,490	13,730,831
無形固定資産		
投資その他の資産	※1 1,473,137	※1 1,488,190
固定資産合計	15,557,818	15,344,195
資産合計	27,684,068	27,985,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成 26 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 26 年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,408,922	3,452,137
短期借入金	3,379,000	3,379,000
1 年内返済予定の長期借入金	86,250	72,870
未払法人税等	449,452	343,105
賞与引当金	304,770	471,352
役員賞与引当金	29,000	14,500
その他	2,248,423	2,038,346
流動負債合計	9,905,820	9,771,312
固定負債		
長期借入金	40,810	10,370
役員退職慰労引当金	556,152	571,527
退職給付に係る負債	398,036	567,040
資産除去債務	4,918	4,918
その他	1,089,240	1,009,992
固定負債合計	2,089,157	2,163,848
負債合計	11,994,977	11,935,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	13,089,583	13,415,020
自己株式	△1,845,277	△1,845,300
株主資本合計	15,510,353	15,835,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,817	202,101
為替換算調整勘定	90,260	69,022
退職給付に係る調整累計額	△61,342	△56,778
その他の包括利益累計額合計	178,736	214,345
純資産合計	15,689,090	16,050,113
負債純資産合計	27,684,068	27,985,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)
売上高	17,259,975	18,235,608
売上原価	11,575,639	12,392,700
売上総利益	5,684,336	5,842,907
販売費及び一般管理費	※1 4,904,149	※1 4,959,421
営業利益	780,186	883,485
営業外収益		
受取配当金	9,328	10,290
受取賃貸料	13,818	13,285
その他	21,966	19,281
営業外収益合計	45,113	42,857
営業外費用		
支払利息	9,854	9,071
賃貸費用	14,490	19,206
持分法による投資損失	-	27,712
その他	-	8
営業外費用合計	24,345	55,997
経常利益	800,954	870,345
特別利益		
投資有価証券売却益	-	9
特別利益合計	-	9
特別損失		
固定資産売却損	304	-
固定資産除却損	518	-
特別損失合計	823	-
税金等調整前四半期純利益	800,131	870,355
法人税等	320,378	335,742
少数株主損益調整前四半期純利益	479,752	534,613
四半期純利益	479,752	534,613

【四半期連結包括利益計算書】

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	479,752	534,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,209	52,283
退職給付に係る調整額	-	4,563
持分法適用会社に対する持分相当額	63,620	△21,238
その他の包括利益合計	97,830	35,608
四半期包括利益	577,582	570,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577,582	570,221
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	800,131	870,355
減価償却費	410,031	439,627
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△493	△176
賞与引当金の増減額 (△は減少)	138,426	166,581
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,000	△14,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21,250	15,375
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△10,044	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	10,718
受取利息及び受取配当金	△9,372	△10,335
支払利息	9,854	9,071
持分法による投資損益 (△は益)	-	27,712
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△9
固定資産売却損益 (△は益)	304	-
固定資産除却損	518	-
売上債権の増減額 (△は増加)	724,236	273,983
たな卸資産の増減額 (△は増加)	417,211	△460,943
仕入債務の増減額 (△は減少)	△718,859	75,636
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△77,562	168,564
その他	△476,290	△325,881
小計	1,214,341	1,245,778
利息及び配当金の受取額	9,370	10,335
利息の支払額	△9,781	△8,968
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△354,413	△427,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	859,515	819,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△20,000	-
有形固定資産の取得による支出	△249,464	△134,660
有形固定資産の売却による収入	5,161	-
投資有価証券の取得による支出	△17,153	△15,971
投資有価証券の売却による収入	-	42
関係会社出資金の払込による支出	△111,836	-
その他	△936	△3,037
投資活動によるキャッシュ・フロー	△394,228	△153,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	-
長期借入金の返済による支出	△61,771	△43,820
自己株式の取得による支出	-	△22
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△118,475	△165,481
配当金の支払額	△102,201	△102,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,447	△312,015
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	132,839	354,334
現金及び現金同等物の期首残高	2,565,589	2,118,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,698,428	※1 2,472,716

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	17,111,145	148,830	17,259,975	—	17,259,975
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,111,145	148,830	17,259,975	—	17,259,975
セグメント利益	700,705	79,481	780,186	—	780,186

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	18,085,290	150,318	18,235,608	—	18,235,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,085,290	150,318	18,235,608	—	13,285,608
セグメント利益	797,161	86,324	883,485	—	883,485

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第 1 四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

なお、当該変更による当第 2 四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成 26 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 26 年 9 月 30 日)
投資その他の資産	13,208 千円	13,032 千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)
販売促進費	1,293,252 千円	1,376,129 千円
給料及び手当	1,221,575 千円	1,230,846 千円
賞与引当金繰入額	231,057 千円	253,586 千円
役員賞与引当金繰入額	11,150 千円	14,500 千円
退職給付費用	35,652 千円	37,049 千円
役員退職慰労引当金繰入額	22,450 千円	15,375 千円
貸倒引当金繰入額	△493 千円	△19 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)
現金及び預金勘定	3,011,475 千円	2,785,763 千円
預入期間が 3 カ月を超える定期預金	△313,046 千円	△313,047 千円
現金及び現金同等物	2,698,428 千円	2,472,716 千円